



観世音菩薩は三十三の变化観音が知られていますが、妙生という名称はありません。でも、左手に蓮華を

持っています。観世音菩薩は三十三の变化観音が知られていますが、妙生という名称はありません。でも、左手に蓮華を

歴史散歩

水天宮と水神(田原町)



第532回

七月二十七日の豪雨で瀬戸越町左石付近でがけ崩れがあり、六百メートルの巨岩が路上に落下し、地下に埋設の水道管を壊して、一万七千世帯が数日断水しました。そのがけ崩れ現場の相浦川を隔てた対岸の木立の中に水天宮が祀られています。

持つ姿は威徳観音と呼ばれる十五番目の観音と同じ姿です。この観音さまは、水辺にある岩の上に座って水面を眺める姿で、水難除の祈願を司っています。柚木谷から流れ下る相浦川は、左石で将冠岳北の前岳に突き当たり、西向きに流れを変えて皆瀬、中里へと流れます。七月に落石事故があった大野付近はこれまでもしばしば被害にみまわれ、流域の人たちは必死で水難除除を願ひ、水神や水天を祀ってきました。



人の暮らしは無論のこと、水こそは命を宿す源であるだけに、古代から信仰の対象となり、神仏習合の鍵をにぎる存在であったことも、水天宮が如実に物語っています。

筒井隆義

市長日記



小学3年生の九十九島シーカヤック体験

佐世保市は、天然の良港といわれる佐世保湾や大村湾、西海国立公園九十九島海域と、それぞれ趣の違った海に面しています。

こうした素晴らしい海をより楽しむため、最近、操作が簡単で、海を間近に感じられるシーカヤックなどの海洋スポーツが全国的に普及し始めています。

全国の中でも九十九島海域は、波が穏やかで、島々の入り江が変化に富んでいることから、シーカヤックの絶好のフィールドとして高く評価されています。しかし、本市にそうした素晴らしいフィールドがあるにもかかわらず、そのことを認識されている市民の方は少なく、体験された人もまだまだ少ない状況です。

そこで本市では、子どものときから、ふるさと佐世保の海と海洋スポーツに親しんでもらうため、市内全小学校の3年生を対象に、九十九島自然体験学習のプログラムの一つとして、「シーカヤック体験」を本年度から取り入れました。先日、金比良小学校の子どもたちが体験しているところを視察しましたが、どの子どもも楽しそうにチャレンジしていました。



波静かな九十九島海域でシーカヤックを楽しむ人たち

海は怖い、危険だと心配する人もおられるかもしれませんが、安全面には十分に配慮しながら無理のない体験学習にしていますので、ご理解をお願いしたいと思います。

またこの取り組みを機に、多くの市民の皆さんにもシーカヤックの楽しさを体験していただきたいと思います。市民の皆さんが楽しめるものには、きっと観光客の皆さんも興味を示されるはずですよ。

九十九島の大自然の中でのんびりとパドリングする楽しさを全国に発信しましょう。

佐世保市長 朝長 則男

SASEBO

編集後記

帰宅後、玄関に投げ出されたままのランドセル。「宿題は？」への娘の返事は「まーだー」。「何してたの?」「さあ?」「さあは何?」「分かんない」。今回、学童クラブの取材で「ただいま」の後すぐにランドセルから宿題を出す子どもたちを見た後だけに、わたしが不在時の娘の「放課後」が少し不安に。夏場は日が沈むまで自転車を乗り回していたものの、最近では日焼けにこりて外に遊びに出るでもなく、ゲームをするか鏡とにらめっこで「豊かな放課後」には程遠い我が家。自分磨きをするのなら、鏡よりも本とにらめっこをしたほうが自分のためなのに…。(W)

情報クリップ



九十九島の日感謝祭

九十九島の日(9月19日)が制定されて10周年を迎え、西海パールリゾートでは9月19日と20日の両日、「九十九島の日感謝祭」が開催されました。多くの人でにぎわった会場では、地元デュオ「SandyTrip(サンディトリップ)」のライブ演奏(写真上)やパルクィーンカフェなど、さまざまなイベントが催され、夜には10周年を記念した919発の花火(写真左)が九十九島の夜空を彩りました。



ご長寿おめでとうございます!

敬老の日の9月21日、朝長市長が市内の老人ホームなどを訪問し、高齢者の長寿をお祝いしました。市長は老人ホームに集まったお年寄りに「長年にわたり本市の発展を支えていただき、心から感謝の意を表します。今後も元気に過ごし、皆さんが築いてこられた日本の良き伝統を多くの皆さんに伝えてください」とあいさつしました。市内の65歳以上の高齢者は8月1日現在で63,325人、100歳以上は8月末現在で103人となっています。



国内最大級客船「飛鳥II」の寄港

9月27日、国内最大級のクルーズ客船「飛鳥II」が、約2年半ぶり(2回目)に本市へ寄港しました。船が接岸した前畑岸壁では、乗組員や約750人の乗客の皆さんに対する歓迎行事を行い、朝長市長は「佐世保を十分に堪能してください」とあいさつしました。同日の夕方、船は次の寄港地、韓国釜山へ向け出港しました。



全国大会で好成績!

テニスの全日本ジュニア選手権(8月、大阪市)の14歳以下女子シングルスで準優勝した江代純菜さん(相浦中2年・左)と、同ダブルスで江代さんと組みベスト16に入った川口桃佳さん(相浦中1年・右)が9月30日に市役所を訪れ、朝長市長に結果報告しました。



水道料金改定は継続審査へ

9月28日、9月定例会議会の最終本会議が開かれ、本年度一般会計補正予算案など20議案が可決、同意され閉会しました。本紙10月号でお知らせした水道料金を改定する「佐世保市水道条例の一部改正」の議案は、さらに検討を要するため継続審査になりました。詳しくは「させぼ市議会だより」をご覧ください。